

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WX-6000MD



警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたると、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

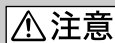
警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指狭み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
MDの取り扱い	6
CDの取り扱い	7
はじめに	8
まず、本機をリセットする	9
CD/MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
カードリモコンの操作	14
ロータリーコマンドの操作	16
メニュー画面/リスト表示について	18
時計を合わせる	19

CD・MD

CD/MDを聞く	20
繰り返し聞く(リピート再生)	23
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	24
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)	25
プログラムを変える (プログラム変更)	28
ディスクに名前をつける(ディスクメモ/カスタムファイル)	29
ディスクを名前で探す(リスト)	31
CD TEXTを見る	32

ラジオ

放送局を自動で登録する	34
特定の放送局を登録する	38
放送局を名前で探す(リスト)	39
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	40

テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る	42
別売りのビデオを見る	44
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ)	45

携帯電話

電話をかける	46
電話を受ける	47
その他の操作	48
その他の設定	49

サウンドの設定

DSOを設定する	50
イコライザーを使う(EQ)	52
リスニングポジションを設定する (POS)	54
音のバランスや音質を設定する (バランス)(ATT) (ソースサウンドメモリー)	56
スピーカーの出力を設定する	57
サブウーファーの出力を設定する	59
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)	61

その他の操作

音や表示などの設定を変える	63
フロントパネルの角度を変える	65

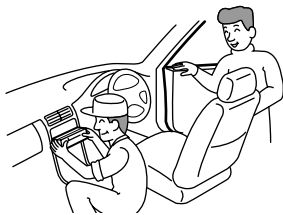
使用上のご注意	66
故障かな?	68
エリアコール一覧	72
放送局一覧	73
保証書とアフターサービス	80
主な仕様	80
索引	82



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



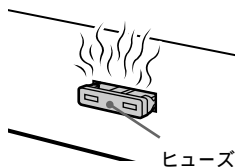
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



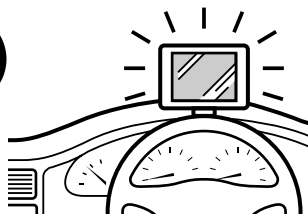
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



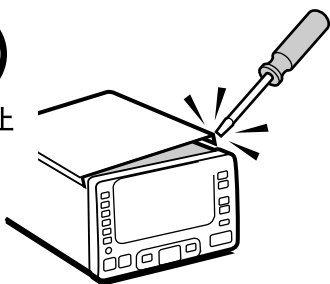
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



禁止

走行中はフロントパネルを開けない

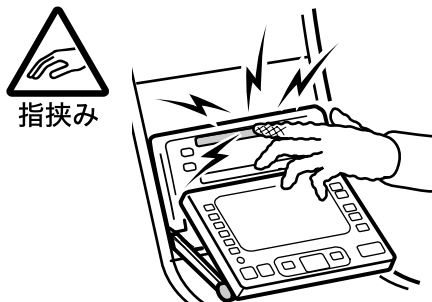
車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、CDおよびMDの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを開けてから走行してください。





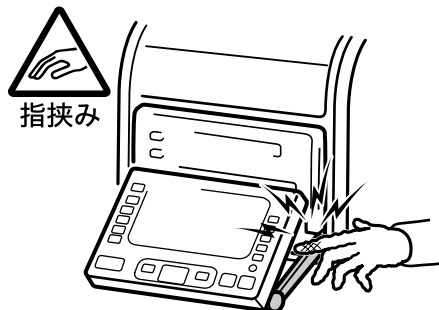
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。

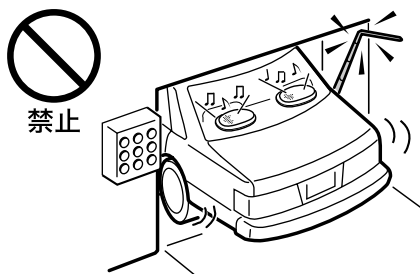


フロントパネルを閉じるときは
フロントパネルに傾斜をつけている(65ページ)ときや、開ききっているときに無理な力を加えて閉めたりしないでください。故障の原因になります。必ずOPEN/CLOSEボタンで開閉して下さい。



アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときは電源をOFFにする

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れないシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



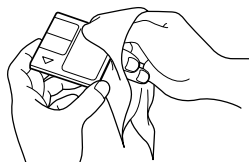
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を開け切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



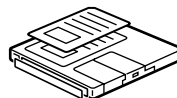
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

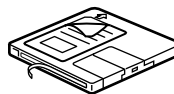
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



CDの取り扱い

CDについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



記録面に触れないように持つ。



禁止

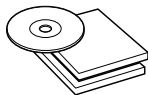


ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので使用しないでください。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-Rについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは再生できません。

はじめに

- 本機1台でCD/MD、ラジオの3メディアに対応。
- 広がりのある音場を創造する新機能DSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能付きDSP搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドEQ(イコライザー)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンドを付属。

以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ
- 携帯電話用ハンズフリーユニット

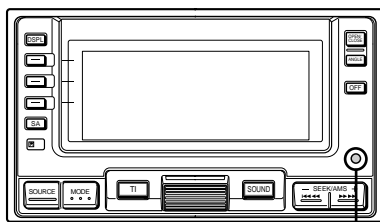
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニット、ロータリーコマンドを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押します。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

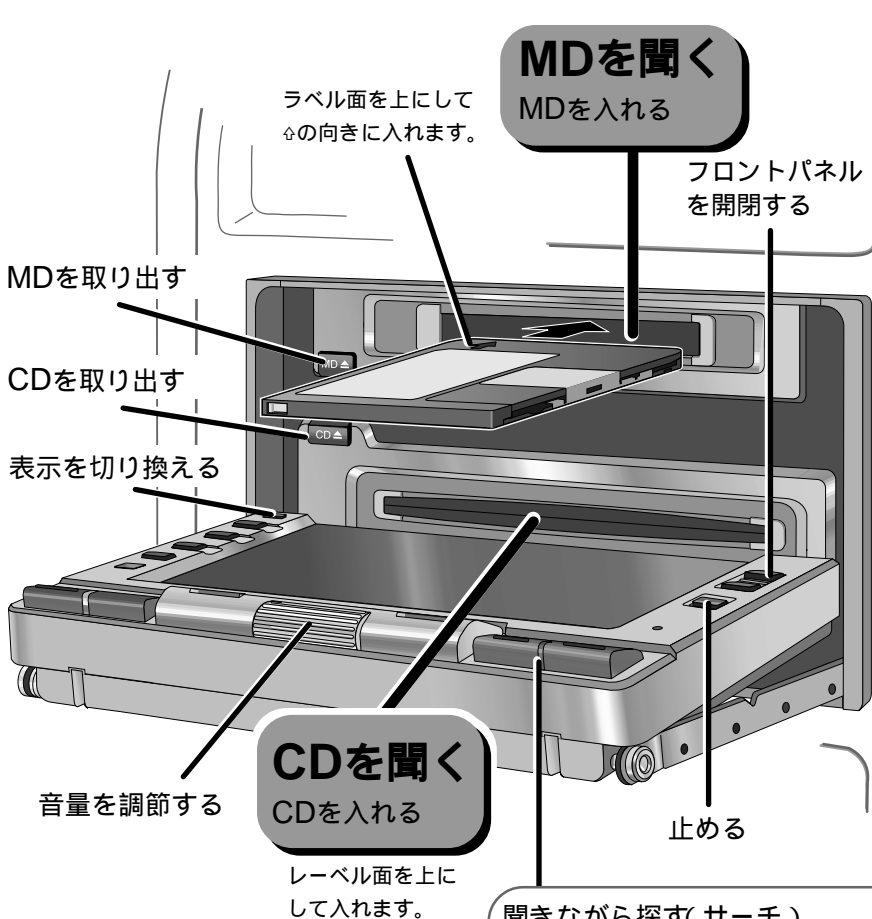
ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから初めてフロントパネルを開けた場合、10秒間はCDおよびMDを入れしないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- テレビのリセットボタンを押したときは、必ず本機のリセットボタンも押してください。




リセットボタン

CD/MD・ラジオの聞きかた



ディスクが入っているときはディスクマークの右に「◀」が点灯します。

ディスクが入っているときは

 ボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。

聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEK/AMSボタンを押し続ける。

▶▶▶▶ : 先に進める

◀◀◀◀ : 前に戻す

指を離すと、そこから再生されます。

曲の頭出し

再生中にSEEK/AMSボタンを押して離す。

▶▶▶▶ : 次の曲へ進む

◀◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻す

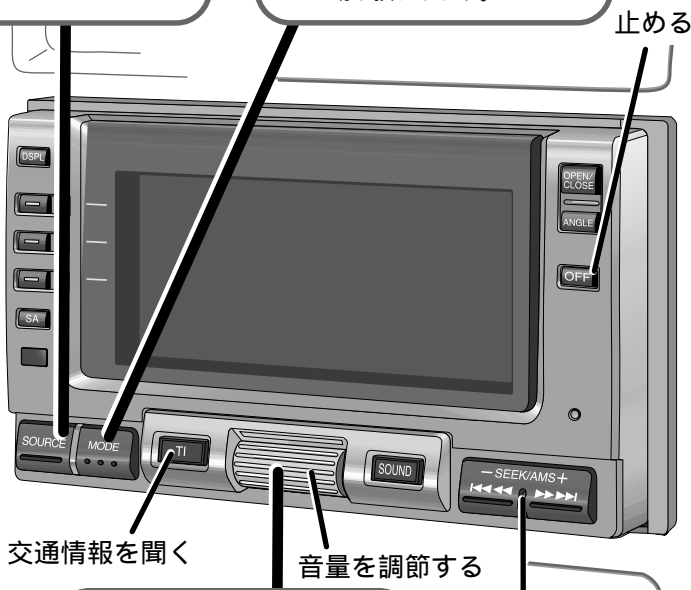
戻したい曲の数だけ押します。

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとにFM ↔ AMと切り換わります。



3 聞きたい放送局を選ぶ

- ① 押してリスト表示にする
- ② 回して聴きたい放送局を選ぶ

放送局の登録についてくわしくは34～35、38ページをご覧ください。

自動選局で受信する
押して離します。

自動的に受信すると止まります。

▶▶▶▶ : 高い周波数へ

◀◀◀◀ : 低い周波数へ

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで押し続けます。

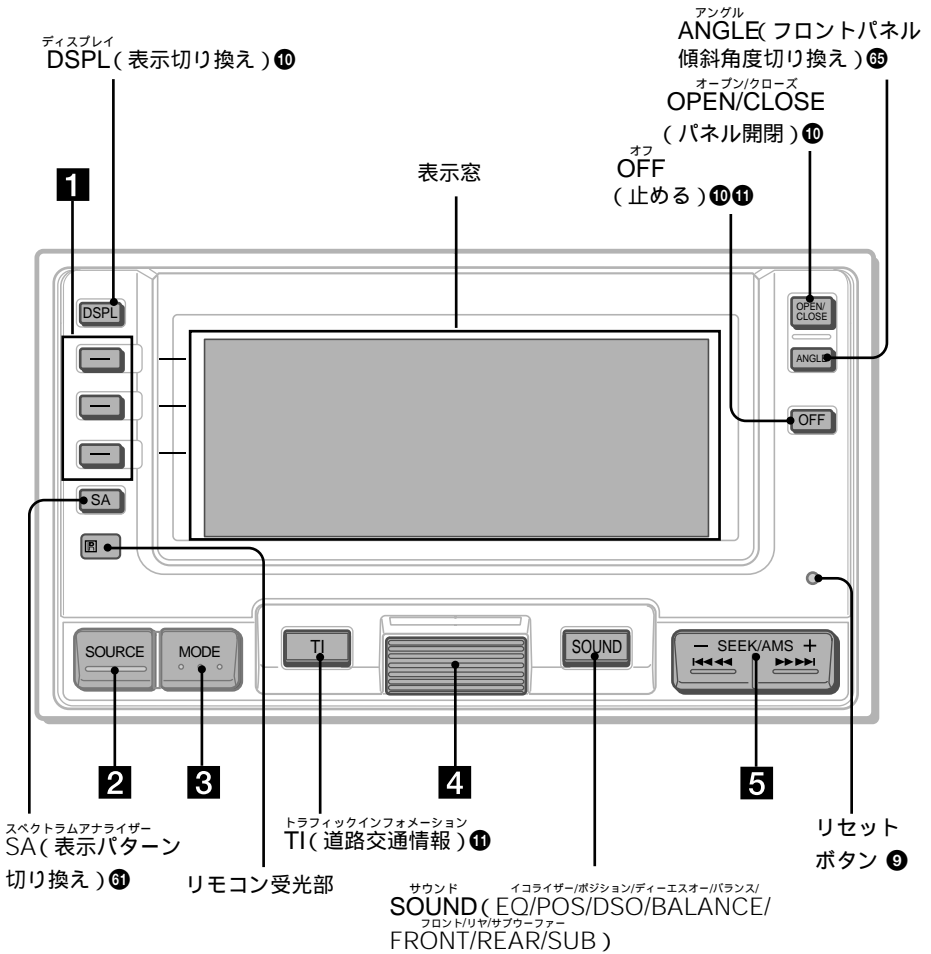
フロントパネルは開けてから約35秒後、自動的に閉まります。

ご注意

- ・最後にボタンを操作してから約35秒後に自動的に閉まります。
- ・開いた状態のフロントパネルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

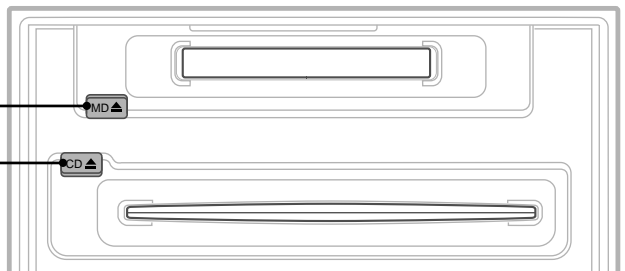
各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



エムディーイジェクト
MD▲(MD取り出し) ⑩

シーディーイジェクト
CD▲(CD取り出し) ⑩



1 ファンクションボタン **23 24 27 35 36 37**

ラジオ	DSPLを 2秒以上 押す	BTM →	EQ ←
FM受信中		MONO	POS
		LOCAL	DSO
ラジオ	DSPLを 2秒以上 押す	BTM →	EQ ←
AM受信中		LOCAL	POS
		DSO	
CD/MD	DSPLを 2秒以上 押す	REP →	EQ ←
		SHUF	POS
		PGM	DSO

2 SOURCE (TUNER/CD/MD/TV/TEL切り換え) **10 11 26 34 38 42 44 45 46 47 48 49**

ソース チューナー/シーディー/エムディー/テレビ/テレフォン

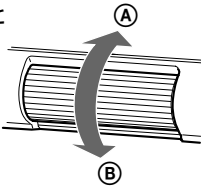
モード

3 MODE

チューナー	TUNER	FM/AM切り換え (ラジオ)
エムディー	MD	MD再生、MDチェンジャー 選択
シーディー	CD	CD再生、CDチェンジャー 選択
テレビ	TV*3	TV/Video切り換え
テレフォン	TEL*3	発信 / 着信

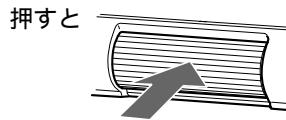
4 ジョグローラー (VOL/EQ/POS/DSO/
BALANCE/FRONT/REAR/SUBの調
整 / リスト表示) **10 11 46 47 48**

回すと



	(A)	(B)
音量調節	大きく	小さく
イコライザー プリセット設定	次へ	前へ
リスニング ポジション	次へ	前へ
DSO	次へ	前へ

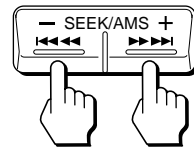
バランス	右へ	左へ
フロント	高く	低く
リア	高く	低く
サブウーファー の出力設定	大きく	小さく
TEL*3	次へ	前へ



ラジオ	放送局に名前をつける*1/ 一覧を見る
MD	一覧を見る
CD	名前をつける*1, 2/一覧を見る
テレビ*3	放送局に名前をつける/ 一覧を見る
TEL*3	発信 / 着信 46 47

- *1 2秒以上押したとき
 - *2 カスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続したとき
 - *3 別売りの機器を接続したとき
- 5** SEEK/AMS (頭出し / ラジオ選局)

10 11 36 48



ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
CD/MD	前の曲へ 早戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
TEL*3	着信履歴へ	発信履歴へ

カードリモコンの操作

各種メニュー設定を行う操作は、カードリモコンで行います。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。

MODEボタン
押すたびに次のように切り換わります。

ラジオのとき
FM ↔ AM

CDまたはMDのとき
 CD/MD1 → CD/MD2*³ → CD/MD3*³... ←

TEL*⁵のとき
携帯電話の発信 / 着信を行います。

LISTボタン
FM/AM/プリセットの一覧
TV*⁴
CD ディスク名または曲名の一覧
MD ディスク名または曲名の一覧

SOURCEボタン
ラジオ、CD、MD、TV*⁴、TEL*⁵を切り換えます。

ENTERボタン
選択したメニュー項目を決定します。

OFFボタン
再生 / 受信を止めます。

MENUボタン
メニュー画面を表示します。

カーソルボタン
FM/AM/ TV*⁴ ↑、↓ プリセット局の選局
←、→ 自動選局*¹ 周波数変更*²
CD/MD ↑、↓ ディスクの選択 (チェンジャー接続時)
←、→ 曲の頭出し*¹ 早送り/早戻し*²
TEL*⁵ ←、→ 着信履歴、発信履歴

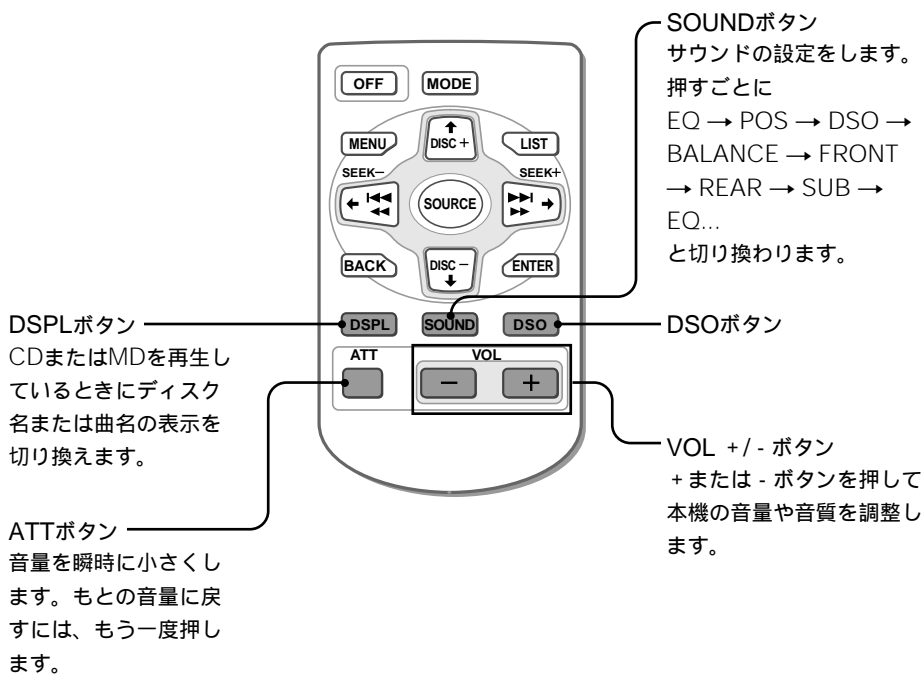
BACKボタン
メニュー操作中に一つ前の画面に戻すときに押します。

*¹ 短く押す
*² 2秒以上押す

*³ CD/MDチェンジャーを接続したとき

*⁴ TVチューナーユニット(別売り)を接続したとき

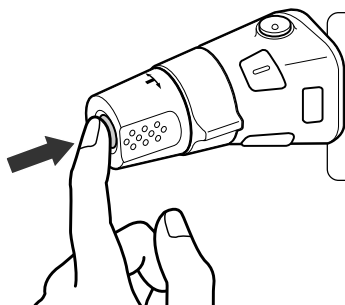
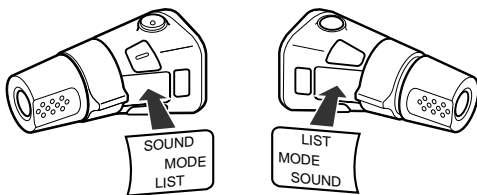
*⁵ PDCハンズフリーユニット(別売り)を接続したとき



ロータリーコマンドーの操作

ロータリーコマンドーのシールについて

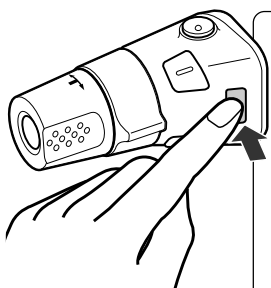
ボタン名称のシールが2枚付属されています。ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースがラジオ CD MD TV* TEL*と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



MODEボタンを押すと

ラジオの時：FM↔AM

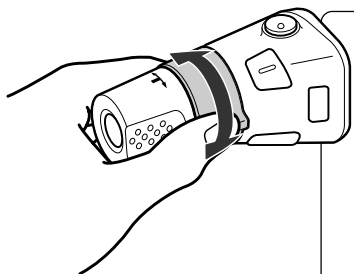
CDの時：CD1→CD2*→・・・

MDの時：MD1→MD2*→・・・

テレビの時：TV*↔VIDEO*

携帯電話の時：発信 / 着信と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

FM/AM/TV...自動的に放送局を受信する

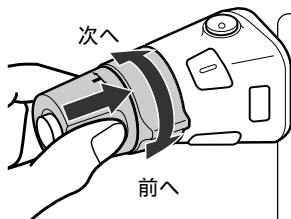
回し続けると特定の周波数に合わせられます

CD/MD... 曲の頭出しをする

回し続けると早送り / 早戻しになり、離すと再生に戻ります

TEL...

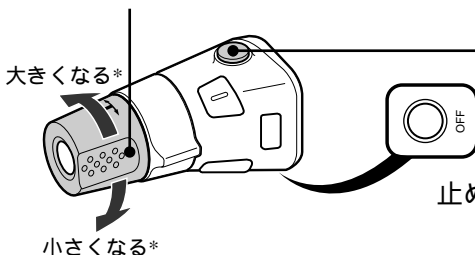
発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出せます



VOLつまみを押しながら回すと
 FM/AM/TV... 登録した放送局を順に受信する
 CD/MD... ディスクを切り換える*
 VOLつまみを押しして離すと
 FM/AM/TV... 登録した放送局の一覧を表示する
 CD/MD... トラック(曲名)のリストを表示する
 ディスクのリストを表示する*
 表示画面は数秒後にもとに戻ります。

* チェンジャー - 接続時のみ

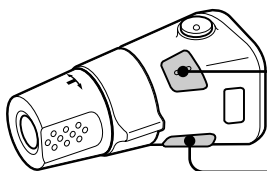
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)
 解除するにはもう一度押すか、VOLつまみ
 で音量を上げます。

止める (OFFボタンを押す)

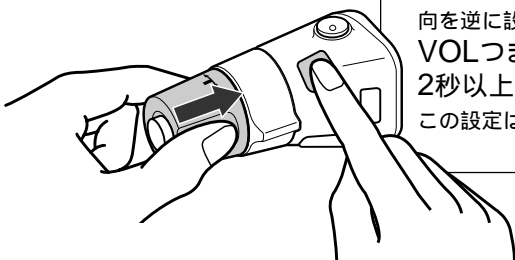
* PDCハンズフリーユニット接続時は携帯電話に登録されている電話番号を選ぶつまみになります。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

リストを表示する (LISTボタンを押す)
 本体のジョグローラーを押したときと同じ働きをします。

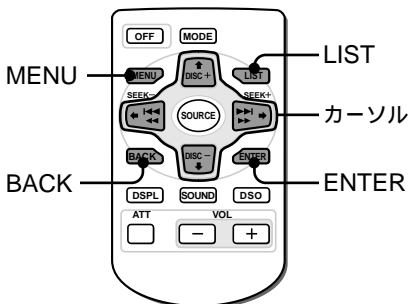
つまみの操作方向を切り換える



運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。
 VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを
 2秒以上押す
 この設定は、本体でもできます (63~64ページ)

メニュー画面 / リスト表示について

MENUボタンまたはLISTボタンを押すと次のようなメニューまたはリストが表示されます。



メニュー画面 (MENUボタンを押して表示)



- 1 MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- 2 カーソルボタンで設定項目と設定内容を選び、ENTERボタンを押して決定します。
- 3 MENUボタンを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。BACKボタンを押すと、1つ前の表示に戻ります。

リスト画面 (LISTボタンを押して表示)



CDまたはMDを選び、LISTボタンを押すとディスク名のリストおよび曲名のリストが表示されます。
FMまたはAMを選び、LISTボタンを押すとプリセット局のリストが表示されます。

登録名でディスクまたはプリセット局を選ぶには

ディスク名のリストまたはプリセット局のリスト画面で、カーソルボタンを押して希望のディスクまたは放送局を選び、ENTERボタンを押します。

曲を選ぶときは、聞きたい曲にカーソルを動かすだけで曲が変わります。

選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、LISTボタンまたはBACKボタンを押します。

ちょっと一言

本体のときは、ジョグローラーを押すとリスト画面になります。

ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。

「No Disc」:

ディスクが入っていない。

「*****」:

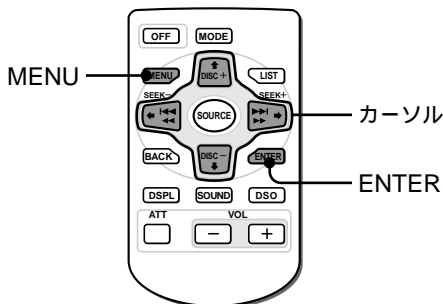
名前がついていない。

「?」:

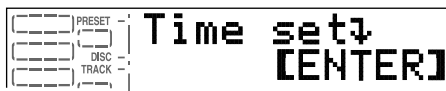
ディスク情報を読み込んでいない。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。
この設定はカードリモコンで設定します。



- 1 MENUボタンを押す。
- 2 カーソルボタンの↑または↓を押して「Time set」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。

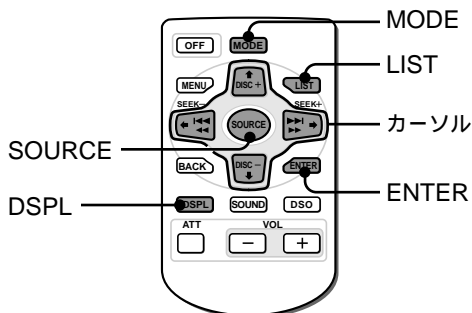
「Time set」画面が表示されます。



- ① ↑または↓を押して「時」を合わせます。
 - ② →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を押して「分」を合わせます。
↓を押すと数値が戻り、↑を押すと数値が進みます。
- 4 設定後、ENTERボタンを押す。
設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

CD/MDを聞く

本機または別売りのCD/MDチェンジャーを使って、CDやMDを再生できます。



ちょっと一言

SOURCE選択時

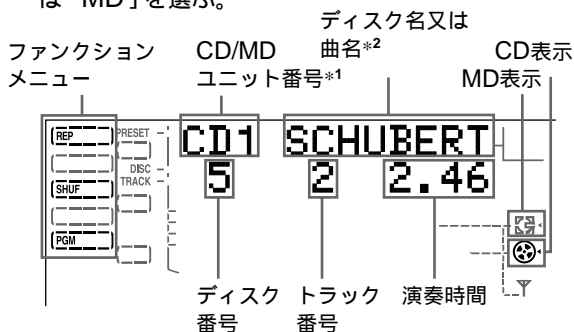
TUNER → CD → MD →
TV/VIDEO* → TEL* →
TUNER...

と変化します。

* 別売りの機器を接続したとき

聞きたいソースを選ぶ

1 SOURCEボタンを繰り返し押し、**「CD」**または**「MD」**を選ぶ。



*1 CD/MDチェンジャーが接続されている場合にユニット番号の数字が表示されます。

*2 名前がついている場合のみ表示されます。

2 MODEボタンを繰り返し押し、CDまたはMDチェンジャーを選ぶ。

別売りのCDチェンジャーを接続した場合
CD1(本機) → CD2(CDチェンジャー1) →
CD3(CDチェンジャー2)

別売りのMDチェンジャーを接続した場合
MD1(本機) → MD2(MDチェンジャー1) →
MD3(MDチェンジャー2)

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれないことがあります。
- 「*****」と表示されたときはディスク名のついていないディスクです。

ちょっと一言

- 本体のジョグローラーを押すとリスト画面になります。またジョグローラーを回してリストからディスクや曲を選ぶことができます。
- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。

聞きたいディスクを選ぶには

再生中に**↑**または**↓**を繰り返し押す。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

ディスク名から選ぶには

1 LISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



2 ↑または↓を押してディスクを選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前を付ける」(29ページ)をご覧ください。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に**←**または**→**を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところするには

再生中に**←**または**→**を押し続けて、聞きたいところで離します。

CD/MDを聞く(つづき)

ご注意

CDチェンジャーのディスクを曲名から選ぶことができるのはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスクを再生する場合のみです。

曲名から選ぶには

- 1 LISTボタンを繰り返し押す。
曲名のリストが表示されます。
- 2 ←または→を押して曲を選ぶ。
選んだ曲の再生が始まります。
- 3 LISTボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを押して表示を切り換えます。

CDの再生の場合

REP	PRESET	CD2	SONYPOPS	ディスク名/アーティスト名*1*2
DISC	DISC	5	2 1.15	曲番号と再生経過時間
SHUF	TRACK			



REP	PRESET	CD2	CARELESS	曲名*1 (CD TEXTとMDのみ)
DISC	DISC	5	2 1.20	曲番号と再生経過時間
SHUF	TRACK			

- *1 名前がついていないときは「NO Name」と一時表示され、ディスク名がついているときはディスク名を表示し、曲名がついているときは曲名を表示します。
また、ディスク名および曲名がついていないときは空白表示になり名前のついているモードに自動的に切り換わります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときはディスクメモの名前を表示します。

ちょっと一言

「オートスクロールの設定」(32ページ)でonにしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。

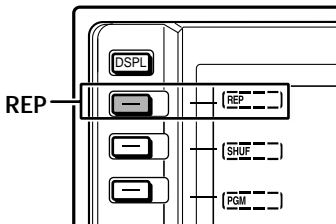
長い名前を見るには

CD TEXTまたはMDの再生中に、DSPLボタンを2回押してください。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみまたはディスク内の全曲、接続したCD/MDチェンジャー内の全ディスクを繰り返し聞くことができます。



ちょっと一言

- ファンクションボタンのREPを押すごとに Repeat 1 → Repeat 2* → Repeat off と切り換わります。
* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。
- リピート再生中は、ファンクションメニューのREPの囲みが回転します。
- カードリモコンを使ってメニューから操作できます。

1 CDまたはMDの再生する。

2 DSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「REP」を表示させる。

3 ファンクションボタンのREPを繰り返し押して聞きたい設定を選ぶ。

- 1曲のみ繰り返す(REP 1).....「Repeat 1」にする。
- 再生中のディスクを繰り返す(REP 2)*
.....「Repeat 2」にする。

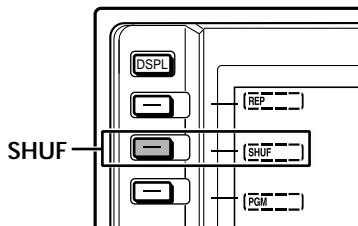
リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには
手順3で「Repeat off」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ご注意

「Shuf ALL」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

ちょっと一言

- ファンクションボタンのSHUFを押すごとに
Shuf 1 → Shuf 2* →
Shuf ALL* → Shuf off
と切り換わります。

* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

- シャッフル再生中は、ファンクションメニューのSHUFの囲みが回転します。
- カードリモコンを使ってメニューから操作できます。この場合、表示の「Shuf ALL」は「Shuffle 3」となります。

1 CDまたはMDの再生する。

2 DSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「SHUF」を表示させる。

3 ファンクションボタンのSHUFを押して聞きたい設定を選ぶ。

本機のみの場合

- 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには (SHUF 1) 「Shuf 1」にする。

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

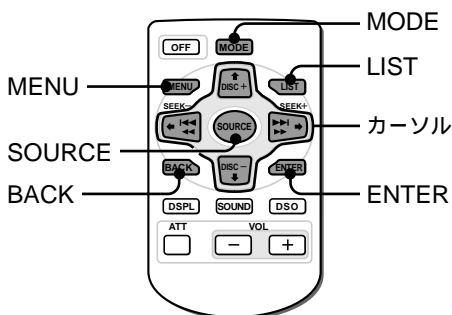
- 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには (SHUF 2)* 「Shuf 2」にする。
- 本機とチェンジャー内のディスクをまたがって順不同に再生するには (SHUF ALL)*
 - 本機のCDとCDチェンジャー
 - 本機のMDとMDチェンジャー..... 「Shuf ALL」にする。

シャッフル再生をやめるには
手順3で「Shuf off」を選びます。

聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しむことができます。プログラムで聞きたい順番に24曲まで登録できます。一度登録すると、ディスクを入れ換えても最初に指定した順番のまま再生されます。また、CDとMDの曲を組み合わせるプログラムを作ることができます。



ちょっと一言

メニューの中で現在の表示をキャンセルして1つ前の表示にするにはBACKボタンを押します。

ご注意

プログラム作成(登録・変更)中はシャッフル再生やリピート再生は保留されず。

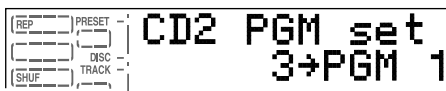
プログラムを登録する

- 1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「PGM」を選ぶ。
- 3 ←または→を押して「set」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。

「PGM set」画面が表示されます。



聞きたい曲を好きな順に聞く(つづき)

ちょっと一言

PGM setの時はSOURCE
ボタンを押すごとに
CD1 → CD2 → MD1 →
MD2 →...
と切り換わります(プログラ
ム再生に対応したCD/
MDチェンジャーを接続し
ている場合のみ)。

ご注意

24のロットすべてに登録
すると「*Mem full*」が
表示され、それ以上登録す
ることはできません。

5 プログラムする曲を選ぶ。

- ① SOURCEボタンを繰り返し押して、CDまたはMD
を選びます。
- ② MODEボタンを繰り返し押して、本機またはCD/
MDチェンジャーを選びます。
- ③ LISTボタンを押してから↑または↓を押して、ディ
スクを選び、ENTERボタンを押します。(CD/MD
チェンジャーを接続してCD/MDチェンジャー
を選んだ場合)
- ④ ←または→を押してプログラムに登録する曲を選び
ます。
- ⑤ ENTERボタンを押します。

手順5を繰り返して曲を追加します。

6 最後に、MENUボタンを2回押す。

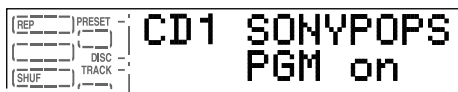
通常の画面が表示されます。

ご注意

- 「Not ready」: データの読み込みが終了するまで表示されます。
- 「NO Data」: プログラムの登録がないときに表示されます。
- カードリモコンを使ってメニューから操作できます。

登録したプログラムで再生する

- 1 再生中にDSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「PGM」を表示させる。
- 2 ファンクションボタンのPGMを押して「PGM on」を選ぶ。



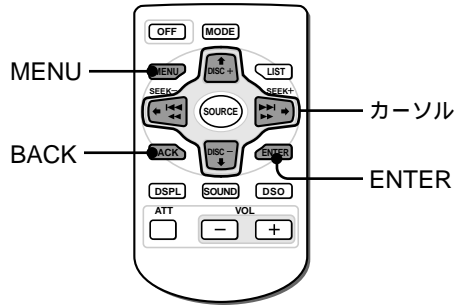
プログラム再生が始まります。

プログラム再生をやめるには
手順 2で「PGM off」を選びます。

プログラムを 変える

(プログラム変更)

登録したオリジナルのプログラムに聞きたい曲を追加登録することができます。

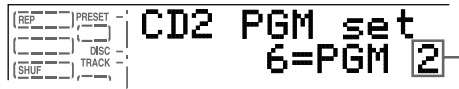


ちょっと一言

曲と曲の間に追加したい場合は、追加したいスロットで新たにENTERするとそれ以降の曲が後ろに移動します。

プログラムに曲を追加する

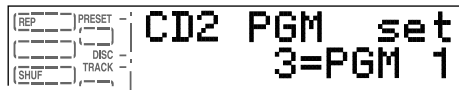
- 1 「プログラムを登録する」(25ページ)の手順1~4を行う。
- 2 ↑または↓を押してスロット番号を選び、ENTERボタンを押す。



手順1と2を繰り返して曲を追加します。 スロット番号

プログラムに登録した曲を消去する

- 1 「プログラムを登録する」(25ページ)の手順1から4を行う。
- 2 消去する曲を↑または↓で選ぶ。



- 3 ENTERボタンを2秒間押す。
スロット番号から曲を消去すると、それ以後の曲が繰り上がります。
他の曲の消去するには、手順2と3を繰り返してください。

- 4 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。

プログラムごと消去する

- 1 「プログラムに登録した曲を消去する」の手順2で「PGM ALL」が出るまで↑または↓を押す。
- 2 ENTERボタンを2秒間押す。
- 3 MENUボタンを2回押す。

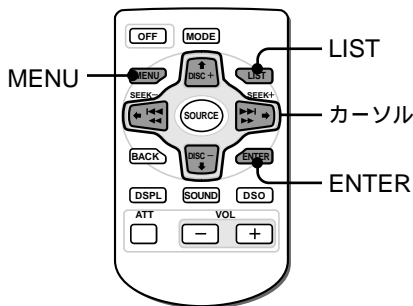
ちょっと一言

登録したプログラムが全て消去されると、「NO Data」と表示されます。

ディスクに名前をつける

(ディスクメモ/カスタムファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。CD110枚分の名前を保存できます。



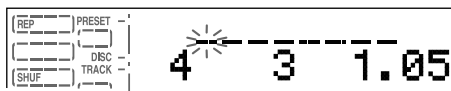
ちょっと一言

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。
- ↑を押すごとに
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 →
+ → - → * → / →
\ → → → →
と変わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときは←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

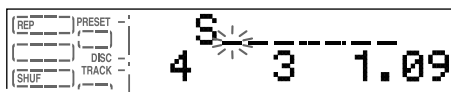
ご注意

ディスクメモを入力中は自動的にディスクリピートになります。その間、シャッフル再生やRepeat1, プログラム再生は保留されません。

1 CDを再生中にLISTボタンを2秒以上押す。



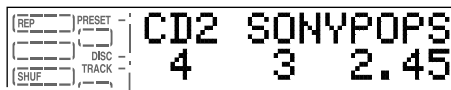
2 ↑または↓を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

3 手順2を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。



ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

- 手順5では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

「名前をつける」(29ページ)の手順2で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Name delete」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



4 ↑または↓を押して消去するディスクの名前を選ぶ。

5 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順4、5を繰り返します。

6 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ディスクを名前ですく

(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 名前の記録されているMDを再生した場合
- 別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続した場合
- 別売りのCD TEXT対応のCDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生した場合

CDについてはディスクメモ機能(29ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

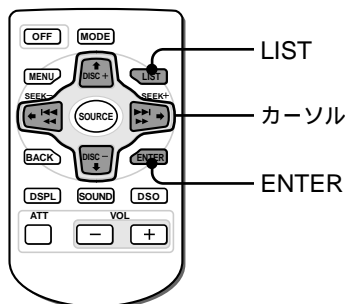
ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前がついていない。
- 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。

ちょっと一言

- 曲名のリスト表示のときは、カーソル移動で、AMSの働きになります。
- 本体のジョグローラーを押すとリスト画面になります。またジョグローラーを回してリストからディスクや曲を選ぶことができます。
- 選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。



1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



2 ↑または↓を押してディスクを選ぶ。

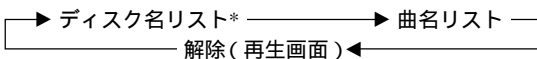
3 ENTERボタンを押す。

そのディスクの1曲目から再生が始まります。

曲名のリスト

再生中にLISTボタンを繰り返し押す。

LISTボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。

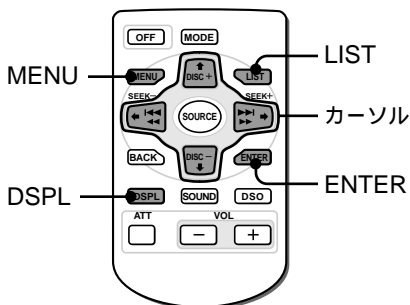


* CD/MDチェンジャーが接続されている場合のみ

曲名リストにはCD TEXTのディスクやMDに記録された曲名が表示されます。本機はCDに曲名を登録することはできないため、CD TEXT対応ではないCDを再生すると、曲名リストには「*****」が表示されます。

CD TEXTを見る

本機またはCD TEXT対応のCDチェンジャーを接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



ちょっと一言

ディスクメモ機能(29ページ)で名前を登録したCD TEXTディスクを再生している場合は、ディスクメモ名が表示されます。

CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

ご注意

CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれなかったりスクロールしないことがあります。

CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すたびに
ディスク名/アーティスト名* ↔ 曲名
と切り換わります。

* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

オートスクロールの設定

CD TEXT対応CDまたはMDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「on」にするとディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Auto Scroll」を選ぶ。



3 ←または→を押して「on」を選び、ENTERボタンを押す。

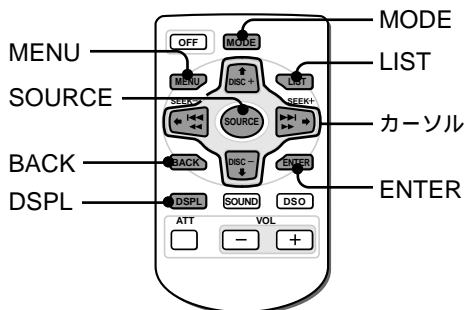
4 最後にMENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「off」を選びます。

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。
FM(TV1~3チャンネル)またはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。



ちょっと一言

エリアコールとは、地域別にあらかじめ登録されている放送局のことです。地域を指定するだけで受信できる放送局が一度にプリセットチャンネルに登録されます(72ページ)。

ちょっと一言

放送局の名前の登録のしかたについてくわしくは、40ページをご覧ください。

エリアコールを設定する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、ラジオ受信にする。

▶ TUNER → CD → MD → TV/VIDEO* → TEL*

* 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

- 2 MODEボタンを繰り返し押し、「FM」または「AM」を選ぶ。

ファンクション
メニュー バンド表示 放送局名* 周波数 ソース表示

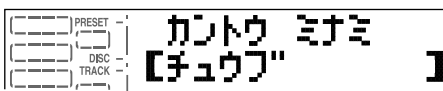


* 名前がついている場合のみ表示されます。

- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して「Area call」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

ちょっと一言

本体のジョグローラーで放送局を選ぶときは、選択と同時に受信周波数も変わります。

- 6 ↑または↓を押してエリアを選び、ENTERボタンを押す。

「センキョクチュウ」が表示されて設定されます。

受信状態の良い放送局を登録する

- 1 DSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「BTM」を表示させる。

- 2 ファンクションボタンのBTMを押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

カードリモコンを使ってメニューから操作できます。

ちょっと一言

道路交通情報(AM 1620kHzまたは1629kHz)の放送地域内で聞くことができます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

←または→を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで←または→を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中にDSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「LOCAL」を表示させる。
 - 2 ファンクションボタンのLOCALを押して、「Local on」にする。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。

道路交通情報を聞くには (トラフィックインフォメーション)

本体のTIボタンを押します。

もとのソースに戻すには

もう一度TIボタンを押します。

SEEK/AMSボタンを押すと、周波数(1620kHz/1629kHz)を切り換えることができます。

ちょっと一言

カードリモコンを使ってメニューから操作できます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 ラジオ受信中にDSPLボタンを2秒以上押して、ファンクションメニューの「MONO」を表示させる。
- 2 ファンクションボタンのMONOを押して「Mono on」にする。

ふつうの受信に戻すには
手順2で「Mono off」を選びます。

FMダイバーシティアンテナで受信するときは

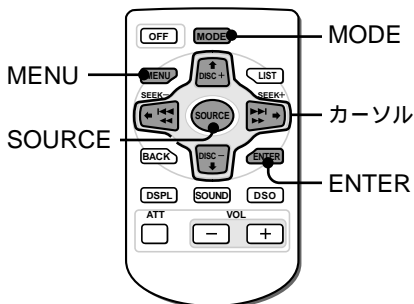
本機にFMアンテナ2本(ダイバーシティシステム)を接続しているときは「on」に設定します。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Diver」を選ぶ。
- 3 ←または→を押して「on」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 最後にMENUボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには
手順3で「off」を選びます。

特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(34ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ちょっと一言

←または→を押し続けて希望の放送局の近くの周波数まで来たら一度指を離し、短く一押ししていくと、0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

ちょっと一言

「FM」および「AM」のそれぞれに10周ずつ設定できます。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押しして、ラジオ受信にする。

▶ TUNER → CD → MD → TV/VIDEO* → TEL*

* 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

- 2 MODEボタンを押して「FM」または「AM」を選ぶ。

- 3 ←または→を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。

- 4 MENUボタンを押す。

- 5 ↑または↓を押して「Preset」を選ぶ。



- 6 ENTERボタンを押す。



- 7 ↑または↓を押して、放送局を登録する番号を選んでENTERボタンを押す。

「Memory」と表示され、登録されます。

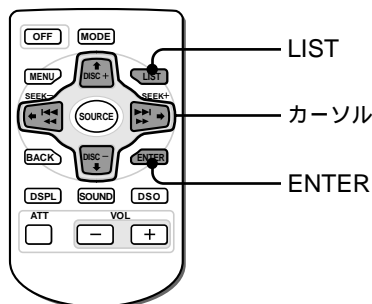
- 8 最後にMENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前です

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探することができます。放送局に名前をつけるときは、40ページをご覧ください。



ちょっと一言

選択をキャンセルするには
LISTボタンを押します。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 ↑または↓を押して放送局を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

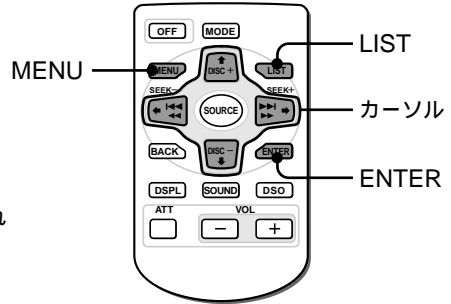
ロータリーコマンドで放送局を選ぶには
VOLつまみを押して離すと放送局名のリストが表示されま
す。

VOLつまみを押しながら回すとプリセットされている放送局
を選択できます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

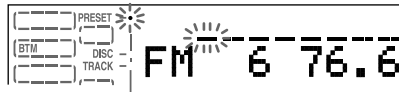


ちょっと一言

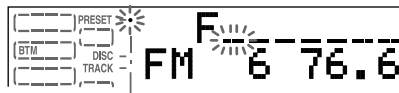
- 現在の表示をキャンセルして前の表示にするにはBACKボタンを押します。
- ↑を押すごとに
A → B → C → ...Z →
0 → 1 → 2 → ...9 →
+ → - → * → / →
\ → → → → →
と変わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、「_」(下線)を入力します。
- カードリモコンを使ってメニューの「Name edit」から操作できます。
- 文字入力を間違えたときは←を押して修正したい文字を点滅させ正しい文字を入れ直します。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 LISTボタンを2秒以上押す。

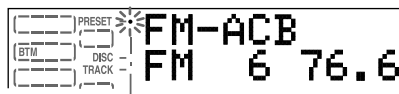


3 ↑または↓を押して挿入する文字を選び、→を押す。



4 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

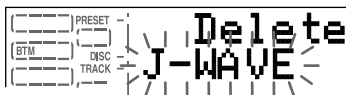


ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」(40ページ)の手順3で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- エリアコールに登録されている局名は消去できません。

放送局の名前を消去する

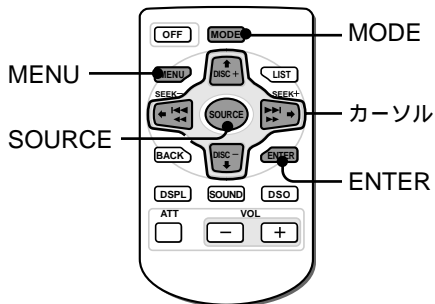
- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name delete」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。



- 4 ↑または↓を押して消去する放送局名を選ぶ。
- 5 ENTERボタンを2秒以上押す。
選択した放送局名が消去されます。
その他の放送局名を消去するには、手順4と5を繰り返します。
- 6 最後に、MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。

別売りのテレビを見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

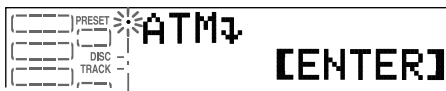


ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 最大10局まで登録できます。

チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、TVまたはVIDEOにする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押し、「TV」にする。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して「ATM」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「Auto mem」が点滅表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」*などと表示されます。

登録が終了と通常の表示に戻ります。

* 表示はTVモニターの機種により異なります。

操作のしかた

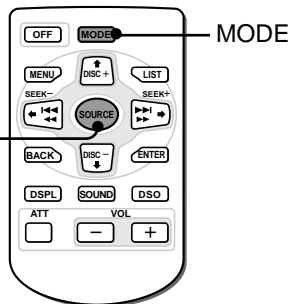
選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	↑または↓を押します。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(37ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none"> 1 TV受信中にMENUボタンを押す。 2 ↑または↓を押して「Bilingual」を選ぶ。 3 ←または→を押して「SUB」を選び、ENTERボタンを押す。 4 最後に、BACKボタンを押す。 通常の音声に戻すには 手順3で「MAIN」を選びます。
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none"> 1 SOURCEボタンを繰り返し押してTVまたはVIDEOにする。 2 MODEボタンを繰り返し押して「TV」にする。 3 「特定の放送局を登録する」(38ページ)の手順3~8の操作をする。
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(40ページ)の操作をする(手順1では、「TV」を選ぶ)。

別売りのビデオを見る

ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書をご覧ください。

SOURCE



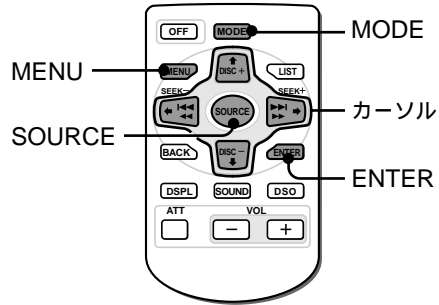
ちょっと一言

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子に接続しているときは、「Video 2」表示に切り換えます。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、TVまたはVIDEOにする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押し、「Video 1」を選ぶ。
- 3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)



ご注意

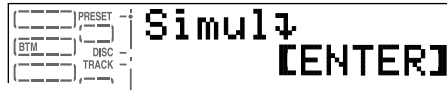
- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

ちょっと一言

サイマルプレイ中、「Video 1」表示は「V1」となります。

1 TV受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Simul」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

4 ←を押して音声を選ぶ。



5 SOURCEボタンを押して聞きたい音声(「CD」または「MD」)を選ぶ。

6 →を押して映像を選ぶ。

7 テレビまたはビデオを選ぶ。

① SOURCEボタンを繰り返し押して、「TV」表示にする。

② ビデオにしたい場合、MODEボタンを押して、「V1」にする。

8 最後にMENUボタンを押す。

サイマルプレイが始まります。

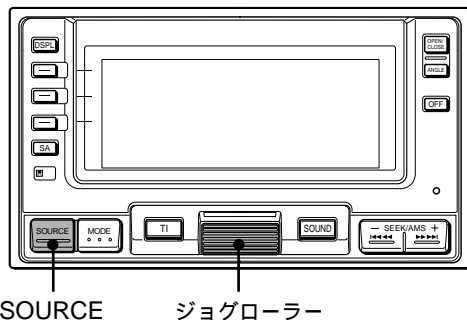
サイマルプレイをやめるには

テレビまたはビデオを止めるには 手順7の①で「- -」を選びます。

CDまたはMDを止めるには 手順5で「- -」を選びます。

電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。



ご注意

- 携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示できます。
また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できない場合もあります。
- 本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- 次の表示の場合、電話がかけられません。
「ケンガイ」:
圏外するとき
「ハッシンフノウ」:
発信不能のとき
「No Phone」:
電話が接続されていない
- 電話側の登録可能件数に関わらず、本機では携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリのみを表示します。
- 携帯電話に300件すべて登録されている場合は、アダプター接続後すべてを表示するのに、最大5分ほどかかります。

1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。

▶ TUNER → CD → MD → TV/VIDEO* → TEL* ◀

* 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

2 ジョグローラーを回して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



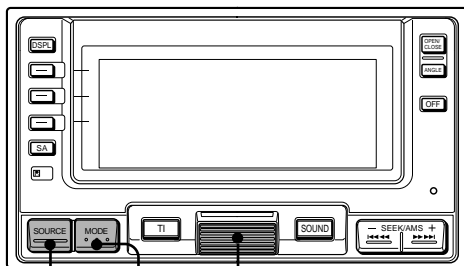
電波の強さ(3段階)

発信/着信履歴にある番号にかけるには

◀または▶を押して履歴にある番号を探す。発信/着信履歴の表示のしかたについては48ページをご覧ください。

3 ジョグローラーまたはMODEボタンを押して、発信する。

電話を受ける



SOURCE MODE ジョグロ - ラ -

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

- 1 スピーカーと本体から着信音となり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の名前と電話番号を表示します。

- 2 ジョグロ - ラ - またはMODEボタンを押す。

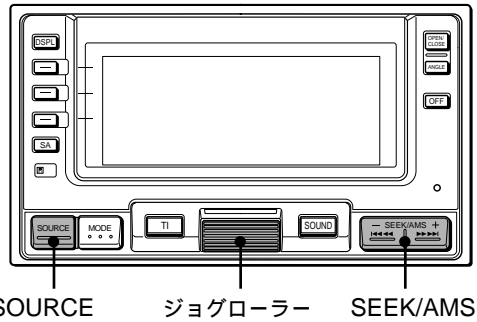


通話時間

電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには手順1の次にSOURCEボタンを押します。

その他の操作



通話が終わったら

元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

受話器の音量を調節するには

通話中はジョグローラーで音量の調節をします。ジョグローラーを回して希望の音量に調節してください。

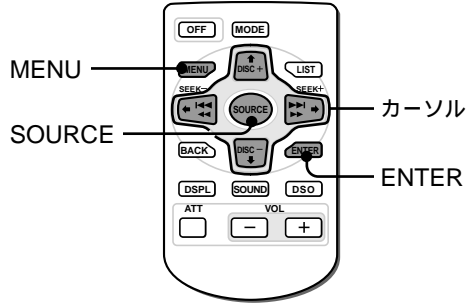
発信・着信履歴を表示するには

SEEK/AMSボタンを押して発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出します。

ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
SOURCEボタンやMODEボタンを押したとき
サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないでご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すときは、必ず「TEL」以外のソース表示になっているときに行ってください。

その他の設定



着信の設定

- 「チャクシンセイゲン」→ 電話を受けられないようにする（着信拒否設定）
- 「チャクシンオン」→ 本機の着信音をon/offする（スピーカーからの着信音はOFFにできません）

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、「TEL」表示にする。

▶ TUNER → CD → MD → TV/VIDEO* → TEL*]

* 別売りの機器を接続している場合のみ表示されます。

- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。
- 4 ←または→を押して設定を選び、ENTERボタンを押す。

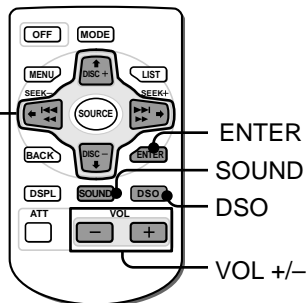
発信・着信履歴を消去する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「リレキクリア」を選び、ENTERボタンを押す。

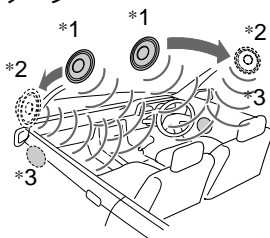
DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(パ〖チャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。さらに好みに合わせてスタジオやホールなどの臨場感(サウンド)の追加もできます。

カーソル



パ〖チャルスピーカーのイメージ



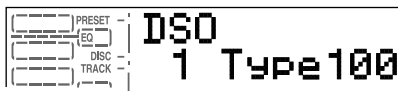
- *1 スタンダード
- *2 ワイド
- *3 実際のスピーカー(フロントドア下)

DSOを選ぶ

プリセットメモリー 設定内容

1 Type 100	パ〖チャルスピーカー(スタンダード)
2 Type 100E	パ〖チャルスピーカー(スタンダード) + 初期反射
3 Type 100R	パ〖チャルスピーカー(スタンダード) + 残響
4 Type 200	パ〖チャルスピーカー(ワイド)
5 Type 200E	パ〖チャルスピーカー(ワイド) + 初期反射
6 Type 200R	パ〖チャルスピーカー(ワイド) + 残響
7 Type R	残響: ホールやシアターなど広い空間を再現
8 Type E	初期反射: スタジオやライブハウスなど比較的せまい空間を再現

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「DSO」を選ぶ。



- 3 VOL+または-を押してプリセットメモリーを選ぶ。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

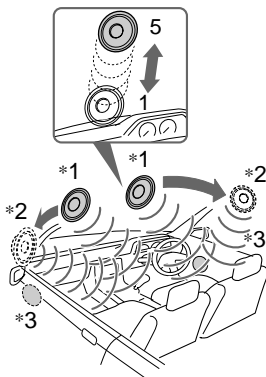
ちょっと一言

- 3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+/-は音量ボタンに戻ります。
- 本体のジョグローラーを回しても選べます。

ちょっと一言

あらかじめプリセットで選んだDSOのon/offは、リモコンのDSOボタンを繰り返し押すことにより簡単に選べます。

効果の調節の目安



- *1 バーチャルスピーカー
- *2 バーチャルスピーカー(ワイド)
- *3 実際のスピーカー(フロントア下)

DSOをやめるには

DSOボタンを押して「off」を選びます。

DSOの効果を上下に調節する

8種類のDSOモードには、それぞれの効果の強さを設定することができます。音像定位は1から5まで設定でき、値が大きくなるほど効果が大きくなります。

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「DSO Tune」を選び、ENTERボタンを押す。

```
(---) PRESET -|
(---) 1 | DSO Tuning
(---) DISC | [ 1 ] Type100
(---) TRACK -|
```

- 4 ↑または↓を押して調節して、DSOモードを選び、ENTERボタンを押す。
- 5 ↑または↓を押して、音像定位の上下を調節する。
音像定位は1から5の範囲で設定でき、値が大きくなるほど音像定位は高くなります。

```
(---) PRESET -|
(---) 1 | DSO Type100
(---) 4 | Effect 4
(---) DISC |
(---) TRACK -|
```

- 6 最後に、MENUボタンを3回押す。

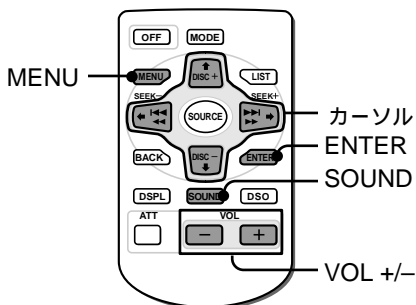
通常の画面が表示されます。

初期設定に戻るには

設定の手順4でENTERボタンを2秒以上押しします。

イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらに好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに

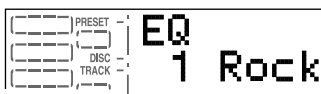
EQ → POS → DSO →
BALANCE → FRONT →
REAR → SUB → EQ...
と切り換わります。

ちょっと一言

- 3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+/-は音量ボタンに戻ります。
- VOL+を押すと、
1 Rock → 2 Vocal →
3 Jazz → 4 Classic →
5 Groove → 6 Talk →
7 Techno → 8 Custom
→ off
と変わります。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「EQ」表示にする。



- 3 VOL+または-を押してイコライザーカーブを選ぶ。
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

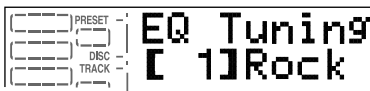
イコライザーを解除するには
手順3で「off」を選びます。

好きなイコライザーカーブを登録する

1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。

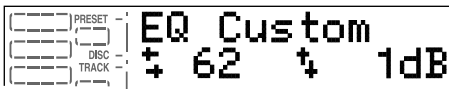
2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を押して「EQ Tune」を選び、ENTERボタンを押す。



PRESET
DISC TRACK
EQ Tuning
[1] Rock

4 ↑または↓を押して登録する番号を選び、ENTERボタンを押す。



PRESET
DISC TRACK
EQ Custom
62 1dB

5 ←または→を押して周波数を選ぶ。

6 ↑または↓を押してレベルを調節する。

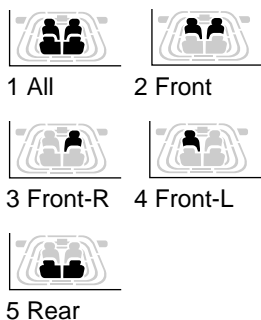
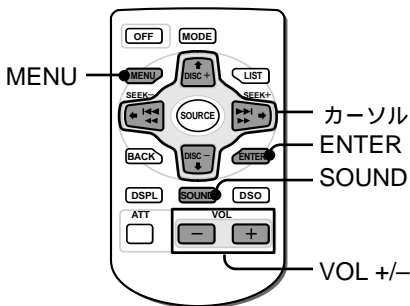
手順5と6を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

7 設定が終わったら、MENUボタンを3回押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

リスニングポジション を設定する (POS)

聞き手の位置 (リスニングポジション) を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されており左右および前後方向に微調整することができます。



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに

EQ → POS → DSO →
BALANCE → FRONT →
REAR → SUB → EQ...
と切り換わります。

ちょっと一言

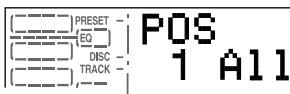
3秒以上ボタン操作をしないと、VOL+または-は音量ボタンに戻ります。

設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
1 All	全席 (運転席 / 助手席 / 後席)
2 Front	前席 (運転席 / 助手席)
3 Front-R	前方右 (運転席)
4 Front-L	前方左 (助手席)
5 Rear	後席
off	ポジション設定解除

1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生 / 受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「POS」にする。



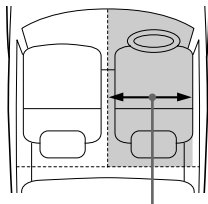
3 VOL+または-を押してリスニングポジションを選ぶ。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

「off」ではリスニングポジションの微調整はできません。

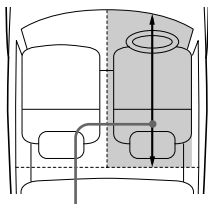
左右の調整



音場の中心

前後の調整

例：Front-Rの設定時

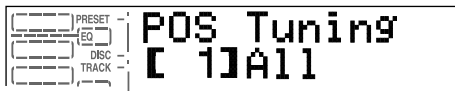


音場の中心

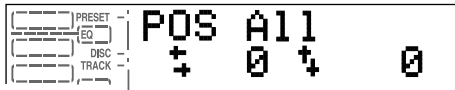
リスニングポジション設定を解除するには
設定の手順3で「off」を選びます。

リスニングポジションを微調整する

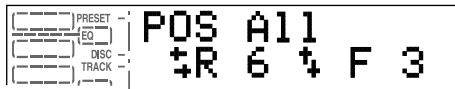
- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「POS Tuning」を選び、ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して調節するポジションを選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。



- 6 ←または→を押して左右の調整をする。



- 7 ↑または↓を押して前後の調整をする。

- 8 最後に、MENUボタンを3回押す。

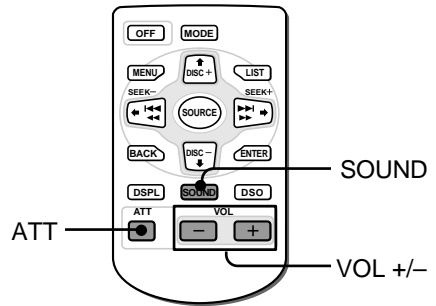
通常のモードに戻ります。

初期設定に戻すには

上記の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

音のバランスや音質を設定する

(バランス)
(ATT)
(ソースサウンドメモリー)



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに
EQ → POS → DSO →
BALANCE → FRONT →
REAR → SUB → EQ...
と切り換わります。

ご注意

項目を選択して3秒以内に
調節してください(3秒過ぎ
るとVOL +/- は音量調節
ボタンになります)。

ちょっと一言

ロータリーコマンダーの
ATTボタンでも操作できま
す。

出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押しして、「BALANCE」にする。

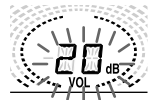


- 2 VOL+または-を押して出力バランスを調節する。
約3秒後に、通常モードに戻ります。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、音量表示が点滅に変わり自動的に音量を下げます。



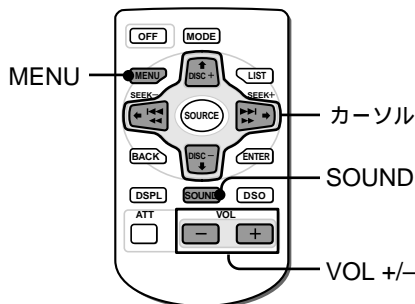
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(CD、MD、FM、AM)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

スピーカーの出力を設定する

フロントまたはリア音声出力端子に接続したスピーカーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。



ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに
EQ → POS → DSO →
BALANCE → FRONT →
REAR → SUB → EQ...
と切り換わります。

出力レベルを調整するには

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「FRONT」または「REAR」にする。

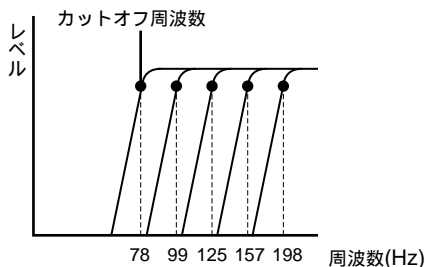


- 3 VOL + または - を押して出力レベルを調整する。
約3秒後に、通常モードに戻ります。

スピーカーの出力を設定する(つづき)

フロント/リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かしきるためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、フロント/リアスピーカーの設置場所を意識させない、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して、「FRONT HPF」または「REAR HPF」を選び、ENTERボタンを押す。



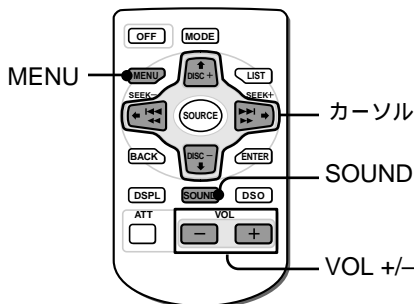
ちょっと一言

- ←または→を押すごとに off(初期値) ↔ 78Hz ↔ 99Hz ↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔ 198Hz と変わります。
- ↑または↓を押すと出力レベルを調整できます。

- 4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ↑または↓を押して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、MENUボタンを2回押す。
通常モードに戻ります。

サブウーファーの出力を設定する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

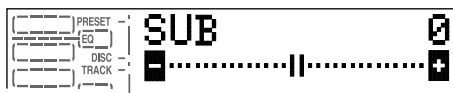


ちょっと一言

SOUNDボタンを押すごとに
EQ → POS → DSO →
BALANCE → FRONT →
REAR → SUB → EQ...
と切り換わります。

出力レベルを調整するには

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「SUB」にする。

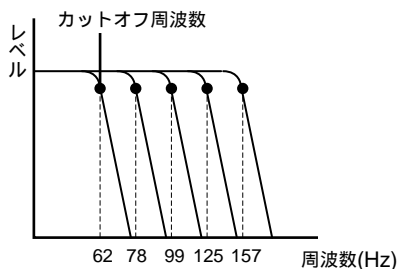


- 3 VOL + または - を押して出力レベルを調整する。
約3秒後に、通常モードに戻ります。

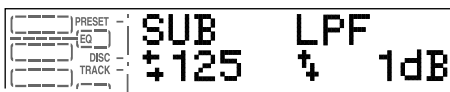
サブウーファーの出力を設定する(つづき)

カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「SUB LPF」を選び、ENTERボタンを押す。



- 4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ↑または↓を押して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、MENUボタンを2回押す。
通常のモードに戻ります。

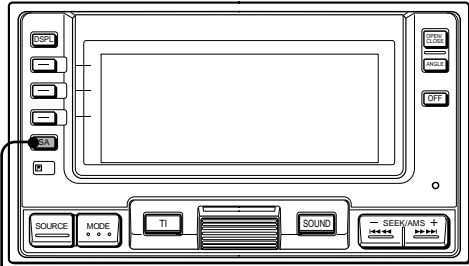
ちょっと一言

- ←または→を押すごとに
62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz
↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔
OFF
と変わります。
- ↑または↓を押すと出力レベルを調整できます。

スペクトラムアナライザーを選ぶ

(SA)

刻々と変化する音声信号レベルを15バンドのスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。また、基本表示パターンは16種類の中から選ぶことができます。また、合計427通りの表示パターンの切り換えが可能です。



SA

メイン表示パターンを選ぶ

再生中に本体のSAボタンを繰り返し押す。

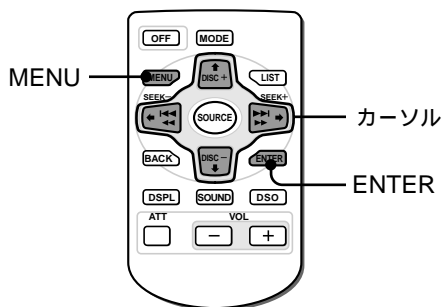
設定の種類	モード名称
SA	Automatic*
SA 1	General
SA 2	Peak
SA 3	Side
SA 4	Dual
SA 5	Waver
SA 6	Stump
SA 7	Snow
SA 8	Rader
SA 9	Splash
SA 10	Stream
SA 11	Spread
SA 12	Ring
SA 13	Spark
SA 14	Bar
SA 15	Classic

* すべての表示パターンを順不同に表示

スペクトラムアナライザーを選ぶ(つづき)

サブ表示パターンを選ぶ

設定の種類	設定内容
「SA Peak-hold」	ピークホールドの種類(4種類)を選べます。
「SA Subobject」	サブ表示パターン(3種類)を選べます。
「SA Direction」	表示方向(前進/後退)を切り換えます。
「SA Nega/Posi」	ネガ/ポジの表示を選べます。



ちょっと一言

- モード設定で「AT」を選ぶと、自動設定になります。
- SA Direction設定のとき
FWD：正方向表示
REV：逆方向表示
- SA Nega/Posi設定のとき
N：ネガ(反転)
P：ポジ

1 MENUボタンを押す。

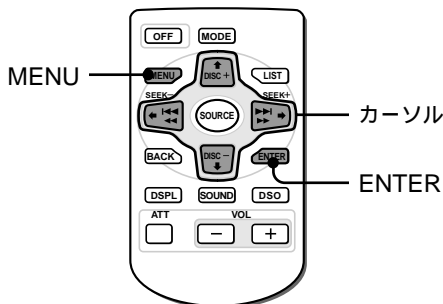
2 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。

3 ←または→を押してモード設定を選び、ENTERボタンを押す。

4 最後にMENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

音や表示などの設定を変える



設定の種類	設定内容
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「AT」 → 車の照明をONにすると表示が減光する(車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Display」	画面表示をon/offすることができます。 「on」 → 常時、表示する 「off」 → ボタン操作後、消灯する。 もう一度いずれかのボタン操作をすると、約5秒間表示されます。
「RotaryRemote」	ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」 → 初期設定の回転方向。 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「Motion」	画面表示パターンを選べます。 「1」→ リズムに合わせて文字がおどる 「2」→ スペアナ表示 「3」→ ビットレートメーター
「3-meter」	3連メーターの表示を選べます。 「1」→ 3バンドのスペアナと時計 「2」→ 3バンドのスペアナとその値 「3」→ 時間表示 「4」→ スピーカー出力(FRONT/REAR/SUB出力レベル設定値)

その他の操作

次のページへつづく

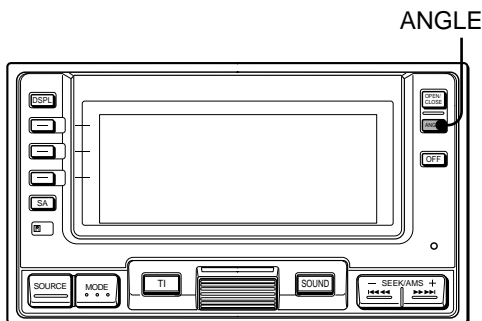
音や表示などの設定を変える(つづき)

設定を変える

- 1 MENUボタンを押す。
 - 2 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。
 - 3 ←または→を押して調節したい設定にする。
(例:「on」または「off」)
 - 4 ENTERボタンを押す。
 - 5 最後に、MENUボタンを押す。
-

フロントパネルの角度を変える

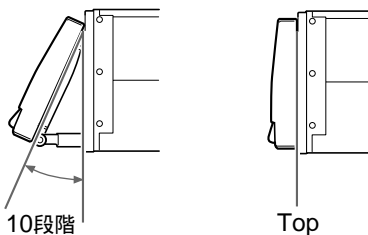
フロントパネルの角度を変えて表示を見やすくします。



本体のANGLEボタンを繰り返し押す。

10段階切り換わります。

さらにANGLEボタンを押すとTOP状態になります。



途中でTOP状態に戻すには
ANGLEボタンを2秒以上押します。

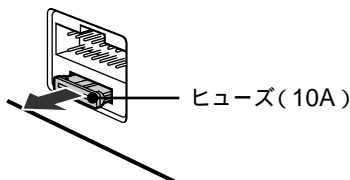
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

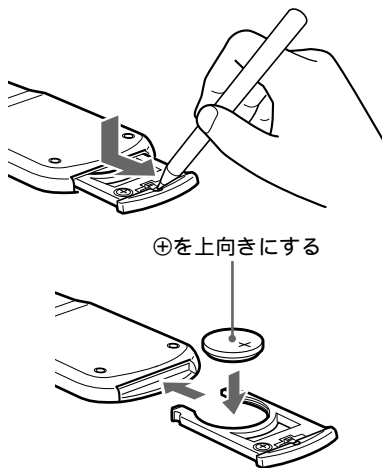
結露したままですとレーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CD/MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

カードリモコンについて

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くとときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• 動作用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(63~64ページ)を「on」にしてください。
	なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• 「Display」の設定がoffになっている。 → Displayの設定をonにしてください(63~64ページ)。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">• すでに別のディスクが入っている。• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上に入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。• ディスクが傷ついている。• 本機の取り付け角度が20°を越えている。• 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。• MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
	MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">• 何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ変えて下さい。

症状	原因・処置
受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
ラジオ/テレビ ←または→を押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LOCAL」の囲みが回転表示されている場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 表示を消してください(36ページ)。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → ←または→を押し続けて周波数を合わせてください。
「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください(37ページ)。
テレビのリセットボタンを押したとき、モニターに何も映らなくなったり本体のボタンが効かなくなる。	テレビのリセットボタンを押した後は必ず本機のリセットボタンを押してください。
音がでない、または音が小さい。	<p>DSOやリスニングポジションの調節でエフェクトレベルを上げすぎで後部座席のスピーカーの音量が自動的に小さくなった。</p> <p>→ バランスを調節します。スピーカーバランスはDSPサウンドチューニングモードで個別に設定できます(56ページ)。</p>

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
通話相手の音声がかえらない。	<ul style="list-style-type: none">• スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 → 本機のジョグローラーを回して音量を調整してください。• 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。
ダイヤルしたが話中音がしてつながらない。	<ul style="list-style-type: none">• 電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。• 通話相手が圏外にいる。• 電波の弱いところにいる。 → サービスエリア内でダイヤルしてください。• アンテナを十分に伸ばしていない。
MODEボタンを押しても発信できない。	<ul style="list-style-type: none">• 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。• 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。
携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。	<ul style="list-style-type: none">• 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。• 携帯電話ハンズフリーキットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号で登録されている。(46ページ)• 登録されているメモリの件数が多いため呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください。(最大5分)
電話がかかってこない。	携帯電話の着信制限がかかっている。
電話がかからない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ケンガイ」(圏外)や「ハッシンフノウ」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。• 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。
「No phone」と表示される。	携帯電話が外れた。 → 携帯電話を接続してください。

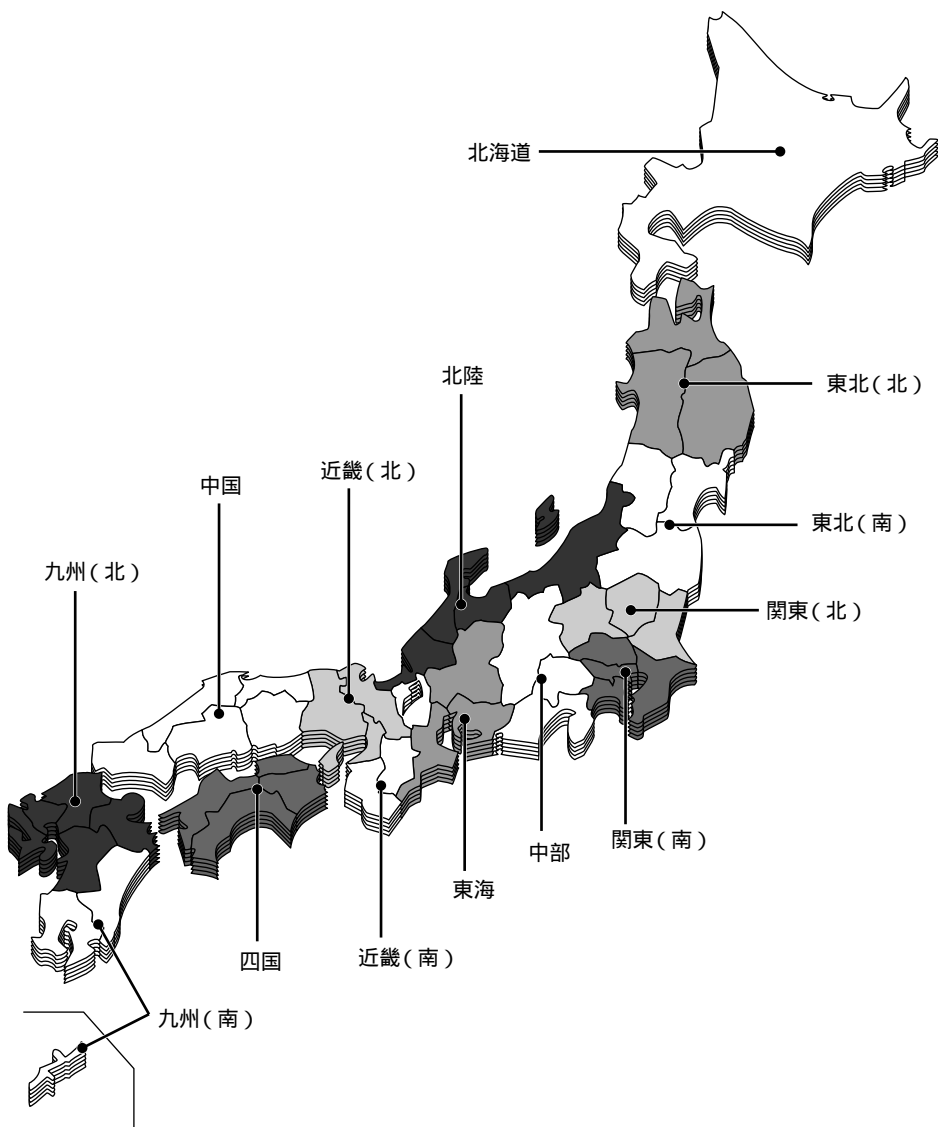
TEL

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Disc	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
Push reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
High Temp	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。

エリアコール一覧



放送局一覧

この放送局一覧では、エリアコール機能により本機に記憶されている放送局(1998年10月現在)について記載しています。

北海道

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	567	585	603	621	675	792	837	927	
	945	1026	1161	1188	1341	1584			
NHK-2 (NHK 第2)	702	747	1125	1152	1467	1602			
HBCラジオ (北海道放送)	801	864	900	1098	1269	1287	1368	1404	
			1449	1494	1557				
STVラジオ (札幌テレビ放送)	639	882	909	1062	1071	1197	1440	1485	

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
AIR-G' (FM北海道)	76.4	78.5	79.2	80.4	81.9	83.1	86.4	87.8	
	88.8	89.4							
NORTH WAVE (FM ノースウェーブ)	77.2	79.4	79.5	79.8	80.7	82.1	82.5		
NHK FM	81.6	84.3	84.5	85.2	85.8	86.0	87.0	87.5	
	88.0	88.2	88.5	89.1	89.9				

東北(北)

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	531	846	792	963	999	1026	1161	1323	
	1341	1503	1584						
IBCラジオ (岩手放送)	684	1062							
NHK-2 (NHK 第2)	774	1359	1377	1386	1467	1521	1539	1602	
ABSラジオ (秋田放送)	801	936	1485	1557					
アオモリホウソウ (青森放送)	1215	1233	1485						
AFN	1575								

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
エフエムイワテ (エフエム岩手)	76.1	77.0	79.2	79.7	80.3	80.7	82.2	85.9	
	89.3								
エフエムアオモリ (エフエム青森)	80.0	78.4	81.3	84.3					
FMアキタ (FM秋田)	77.1	77.7	78.0	78.9	82.8	89.2	89.7		
NHK FM	81.8	82.7	83.1	83.4	83.6	83.8	84.9	86.0	
	86.7	88.3	85.1	85.5					

[次のページへつづく](#)

放送局一覧(つづき)

東北(南)

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	540	846	891	981	1026	1161	1323	1341	
	1368	1584							
YBC ラジオ (山形放送)	918								
NHK-2 (NHK 第2)	1035	1089	1359	1512	1521	1539	1602		
トウホクホウソウ (東北放送ラジオ)	801	1215	1260	1557					
ラジオフクシマ (ラジオ福島)	1458	1098	1395	1431					

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
エフエムセンダイ (エフエム仙台)	77.1	81.3	81.4	84.1					
FMヤマガタ (FM山形)	76.9	77.3	78.2	80.4					
フクシマFM (ふくしまFM)	81.8	78.6	79.8	82.8					
NHK FM	82.1	82.5	83.3	83.6	84.2	84.3	84.6	85.3	
	85.9	86.0	86.1	88.3					

関東(北)

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	594								
NHK-2 (NHK 第2)	693								
TBS ラジオ	954								
ブンカホウソウ (文化放送)	1134								
イバラキホウソウ (IBS 茨城放送)	1197	1458							
ニッポンホウソウ (ニッポン放送)	1242								
トチギホウソウ (CRT 栃木放送)	864	1062	1530						

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
エフエムトチギ (エフエム栃木)	76.4	78.3	78.5	79.1	84.4				
ホウソウダイガク (放送大学)	77.1	78.8							
NHK FM	80.3	81.6	82.9	83.2	83.4	83.7	84.2		
エフエム群馬 (エフエム群馬)	76.7	77.8	79.4	82.0	82.2	86.3			

関東(南)

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数				
NHK-1 (NHK 第1)	594				
NHK-2 (NHK 第2)	693				
AFN	810				
TBS ラジオ	954				
ブンカホウソウ (文化放送)	1134				
ニッポンホウソウ (ニッポン放送)	1242				
ラジオニッポン (RF ラジオ日本)	1422	1485			

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数						
Inter FM	76.1	76.5					
BAY FM (FM サウンド千葉)	77.7	78.0	79.3	79.7	87.4		
NACK5 (FM 埼玉)	77.5	79.5					
TOKYO FM (FM 東京)	76.7	80.0	84.3				
J-WAVE (FM ジャパン)	81.3						
NHK FM	80.7	81.9	82.5	83.5	83.7	83.9	85.1
FMヨコハマ (横浜FM放送)	80.4	84.7					

中部

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数							
NHK-2 (NHK 第2)	639	1359	1467	1476	1512	1521	1539	1602
YBS ラジオ (山梨放送)	765	1062						
NHK-1 (NHK 第1)	540	621	819	882	927	981	999	1026
	1161	1341	1584					
SBC ラジオ (信越放送)	864	1098	1197	1458	1485			
SBS ラジオ (静岡放送)	1404	1557						

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
K-MIX (FM 静岡)	78.4	79.2	81.6	85.8	85.9	86.6		
FMナガノ (FM 長野)	78.1	79.7	80.3	81.5	81.8	83.3	86.4	88.3
FM-FUJI	78.6	80.5	83.0					
NHK FM	77.4	82.1	83.8	84.0	84.2	84.8	84.9	85.3
	85.6	85.7	86.0	88.8				

放送局一覧(つづき)

東海

AM		(単位: kHz)					
放送局	周波数						
NHK-1 (NHK 第1)	729	792	846	1161	1341	1368	
NHK-2 (NHK 第2)	909	1125	1359	1521	1539	1602	
CBC ラジオ (中部日本放送)	801	1053	1062	1557			
トウカイラジオ (東海ラジオ)	864	1332	1458				
ギフホウソウ (岐阜放送)	720	1197	1431	1485			

FM		(単位: MHz)						
放送局	周波数							
ZIP-FM (FM名古屋)	77.1	77.8						
FM ミエ (FM三重)	78.9	78.1	80.4	83.2	84.9	85.5	85.7	
FM AICHI	80.7	81.3						
NHK FM	81.8	82.5	82.8	83.3	83.6	84.4	84.5	
	85.3	85.8	86.1					

北陸

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
KNB ラジオ (北日本放送)	738								
NHK-1 (NHK 第1)	540	648	792	837	927	981	999	1026	
	1161	1224	1323	1341	1368	1584			
FBC ラジオ (福井放送)	864	1557							
MRO ラジオ (北陸放送)	1107	1485							
BSN ラジオ (新潟放送)	1062	1116	1530						
NHK-2 (NHK 第2)	1035	1359	1386	1467	1512	1521	1539	1593	

FM		(単位: MHz)						
放送局	周波数							
FM フクイ (FM福井)	76.1	80.3	82.0	82.5	86.3	86.4		
FM-NIIGATA	77.5	79.2	80.4	84.7	86.5			
エフエムイシカワ (エフエム石川)	78.4	80.5	81.9	85.5	89.9			
NHK FM	81.5	82.2	82.3	83.0	83.2	83.4	83.5	
	84.9	85.1	86.0	87.8				
FM トヤマ (FMとやま)	82.7	84.6	85.8					

近畿（北）

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数						
AM コウベ (AM 神戸 / ラジオ関西)	558	1395					
NHK-1 (NHK 第1)	621	666	999	1026	1161	1341	1584
NHK-2 (NHK 第2)	828	1359	1539	1602			
ABC ラジオ	1008						
KBS キョウト (KBS 京都)	1143	1215	1485				
マイニチホウソウ (毎日放送ラジオ)	1179						
ラジオオオサカ (ラジオ大阪)	1314						

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
FM COCOLO	76.5							
FM 802	80.2							
fm osaka	77.4	85.1						
NHK FM	82.8	82.9	83.5	83.9	84.2	84.8	86.5	88.1
	88.6							
a-STATION (FM 京都)	79.8	81.3	85.4	87.2	89.4			
Kiss-FM (FM 兵庫)	77.6	78.3	78.4	79.9	87.1	87.9	89.9	

近畿（南）

AM

(単位: kHz)

放送局	周波数				
NHK-1 (NHK 第1)	666	945	1026	1161	1584
NHK-2 (NHK 第2)	828	1359	1602		
ABC ラジオ	1008				
KBS キョウト (京都放送)	1143	1215			
マイニチホウソウ (毎日放送ラジオ)	1179				
ラジオオオサカ (ラジオ大阪)	1314				
ワカヤマホウソウ (wbs 和歌山放送)	1431	1233	1485	1557	

FM

(単位: MHz)

放送局	周波数							
E-RADIO (FM 滋賀)	77.0							
FM802	80.2							
NHK FM	81.8	82.8	83.2	83.7	83.8	83.9	84.0	84.7
	87.4	88.1						
fm osaka	77.4	85.1						
a-STATION (FM 京都)	79.8	81.3	85.4	87.2	89.4			

放送局一覧(つづき)

中国

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
NHK-2 (NHK 第2)	702	1035	1125	1152	1359	1377	1386	1467	
	1521	1593	1602						
KRY ラジオ (山口放送)	765	918	1485						
BSS ラジオ (山陰放送)	900	1431	1557						
NHK-1 (NHK 第1)	1071	603	675	846	927	963	999	1026	
	1161	1296	1323	1341	1368	1584			
RCC ラジオ (中国放送)	1350	1458	1530						
RSK ラジオ (山陽放送)	1494								
AFN	1575								

FM

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
エフエムサンイン (FM 山陰)	77.2	77.4	78.8	82.1	83.4	86.6			
ヒロシマFM ホウソウ (広島エフエム放送)	76.4	77.1	77.8	78.2	80.4	81.3	81.4	81.7	
	82.3	83.5	86.3						
エフエムヤマグチ (エフエム山口)	77.7	77.9	78.6	79.2	81.6	88.6			
NHK FM	80.1	83.1	83.3	83.7	84.0	84.3	84.5	84.8	
	85.3	85.5	85.7	85.8	85.9	88.3	88.7		
オカヤマFM (おかやまFM)	76.8	82.9	83.8	84.1					

四国

AM		(単位: kHz)							
放送局	周波数								
RKC ラジオ (高知放送)	900	1197	1395	1557					
NHK-1 (NHK 第1)	792	846	945	963	990	999	1026	1161	
	1323	1341	1368	1584					
ナンカイホウソウ (南海放送ラジオ)	1116								
NHK-2 (NHK 第2)	1152	1035	1359	1467	1476	1512	1521	1539	
	1602								
シコクホウソウ (四国放送ラジオ)	1269								
RNC ラジオ (西日本放送)	1449								

FM

FM		(単位: MHz)							
放送局	周波数								
エフエムカガワ (エフエム香川)	78.6								
FM エヒメ (FM 愛媛)	77.6	78.8	79.7	80.0	82.1	89.2			
エフエムトクシマ (エフエム徳島)	77.7	78.4	80.7	82.3					
エフエムコウチ (エフエム高知)	81.6	78.5	80.6	81.3	82.7				
NHK FM	83.4	84.4	84.8	85.7	86.0	86.5	87.0	87.5	
	87.7								

九州（北）

AM		(単位：kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	540 963	612 981	639 1026	684 1161	756 1323	819 1341	846 1503	945 1584	
NHK-2 (NHK 第2)	873	1017	1377	1467	1512	1521	1602		
OBS ラジオ (大分放送)	1098	1269	1557						
NBC ラジオ (長崎放送)	1116	1233	1431	1449	1458				
RKB ラジオ (毎日放送)	1062	1278							
KBC ラジオ (九州朝日放送)	720	1413	1485						

FM		(単位：MHz)							
放送局	周波数								
Love FM761 (九州国際FM)	76.1	82.7							
エフエムサガ (エフエム佐賀)	77.9	79.9							
CROSS FM (FM九州)	77.0	78.7	86.5	87.2	87.8				
エフエムナガサキ (エフエム長崎)	77.8	78.9	79.2	80.3	79.5				
FM FUKUOKA	80.0	80.7	81.8	82.1	87.0				
NHK FM	81.6 84.8	82.2 85.4	82.5 85.7	82.8 85.8	83.0 86.0	83.4 86.2	83.6 88.9	84.5	
エフエムオオイタ (エフエム大分)	84.9	85.1	88.0	89.3					

九州（南）

AM		(単位：kHz)							
放送局	周波数								
NHK-1 (NHK 第1)	531 1341	540 1368	549 1584	576	621	792	1026	1161	
AFN	648								
RBC ラジオ (琉球放送)	738	1152							
ラジオオキナワ (ラジオ沖縄)	783								
MRT ラジオ (宮崎放送)	936								
MBC ラジオ (南日本放送)	1062	1107							
NHK-2 (NHK 第2)	1125	1359	1386	1467	1512	1521	1539	1602	
RKK ラジオ (熊本放送)	1197								

FM		(単位：MHz)							
放送局	周波数								
エフエムカゴシマ (エフエム鹿児島)	76.6	79.0	79.8	80.5					
エフエムミヤザキ (エフエム宮崎)	80.7	83.2	84.9	89.5					
NHK FM	82.2 88.1	83.7 84.4	84.1	84.7	84.8	85.6	86.2	87.0	
エフエムオキナワ (エフエム沖縄)	87.3								
AFN	89.1								
FM ナカキュウシュウ (エフエム中九州)	77.4	76.8	76.9	78.4	80.4	81.3	82.0		

保証書と アフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	94dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比	94dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.4%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz/WIDE時)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±12dB

アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	45W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビ用)
本体寸法	約178×100×194mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×100×165mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約3.0kg
付属品	カードリモコン RM-X78(1) ロータリーコマンドー RM-X4S(1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売品	CDチェンジャー(10枚) CDX-838、CDX-737など MDチェンジャー(6枚) MDX-65など パワーアンプ XM-405EQXなど ソースセレクター XA-C30 バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m) RC-62(2m) バス延長コード RC-U305(0.5m) RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m) 電源コード RC-39
-----	--

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、ドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

- イコライザー 52~53
- エラー表示 71
- エリアコール 34
- 音量 10~11、48

カ行

- カスタムファイル 29~30

サ行

- サイマルプレイ 45
- サブウーファー出力 59~60
- スクロール 22、33
- ステーションメモ 40~41
- シャッフル 24
- ステレオ放送 37
- スピーカーバランス 56
- スペクトラムアナライザー
..... 61~62
- ソースサウンドメモリー 56

タ行

- ディスクメモ 29~30
- テレビ 42~45
 - 名前をつける 43
 - 登録 42
- 登録
 - 自動登録 34~35
 - ラジオ局 34~35、38
 - テレビ局 42
- 道路交通情報 (TI) 11、36
- 時計 19

ナ行

名前

- 消去する 30、41
- つける 29、40、43
- 表示する 22、31、39

ハ、マ、ヤ行

- バランス 56
- ビデオ 44
- ヒューズ 66
- 表示窓
 - メニュー 18
 - CD/MD 20
 - ラジオ 34
- プログラム 25~28
- フロントパネル 65
- ベストチューニングメモリー
(BTM) 35
- ボタンの音 63~64

ラ、ワ行

- ラジオ 11、34~41
 - 自動選局 36
 - 登録 34~35、38
 - 名前で探す 39
 - 名前をつける 40~41
 - 名前を表示する 39
- リスニングポジション
..... 54~55
- リスト 31、39
- リセット 9
- リピート 23
- リモコン
 - ロータリーコマンダー
..... 16~17、63~64
 - カードリモコン
..... 14~15、66

アルファベット順

- Area call 34~35
- ATM 42
- ATT 56
- Auto Scroll 33
- BALANCE 56
- BTM 35
- CD/MD 10、20~33
 - 名前で探す 31
 - 名前を消去する 30
 - 名前をつける 29
 - 名前を表示する 22
- CD TEXT 32~33
- Dimmer 63~64
- Display 63~64
- Diver 37
- DSO 50~51
- EQ 52~53
- FRONT HPF 58
- PGM 25~28
- REAR HPF 58
- Repeat 23
- Shuf 24
- LOCAL 36
- MONO 37
- Name delete 30
- Peak-hold 62
- Subobject 62
- SA 61
- Beep 63~64
- EQ 52~53
- POS 54~55
- RotaryRemote 63~64
- SUB LPF 60
- Time set 19
- 3-meter 63~64

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ
(モービルエレクトロニクス専用)

0120-64-0131 (フリーダイヤル)

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間:月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

